

Web版「とやま経済月報」2019年8月号掲載！

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/ecm/>

富山県では、県内外の経済・産業・行政などの動きや概況を広くお知らせするため「とやま経済月報」を掲載しています。

8月号のダイジェスト

寄稿 富山県の景気動向について

日本銀行富山事務所長 小川 万里絵

富山県の景気は、緩やかに拡大しています。

生産については、昨年後半からの中国経済の減速、スマートフォン販売の不調等に伴い一部業種で生産が弱めの動きにあるものの、堅調な内需に支えられ、全体では高水準の生産を維持しています。また、雇用・所得環境の着実な改善が続くもと、個人消費が着実に持ち直しており、所得から支出への前向きな循環メカニズムは維持されています。

本稿では、富山県の主要な経済指標等に基づき、最近の景気動向についての見解を示していただきました。

動き 第31回全国健康福祉祭とやま大会 ねんりんピック富山2018

夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から

富山県厚生部 高齢福祉課

平成30年11月3日（土）から6日（火）まで、県内全15市町村において「第31回全国健康福祉祭とやま大会(ねんりんピック富山2018)」が開催されました。

「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方々を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる健康と福祉の総合的な祭典で、昭和63年から毎年開催されており、富山県では初開催となりました。

本稿では、大会の概要や実施状況などについてご紹介します。

動き 2019年全国家計構造調査

～今を知り 明日をみつめる 暮らしの統計～

統計調査課 生計農林係

全国家計構造調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。1959年から5年ごとに行われてきた「全国消費実態調査」を全面的に見直して実施するもので、2019年調査は13回目に当たります。

本稿では、全国家計構造調査の概要や前回の平成26年全国消費実態調査結果からみえる富山県の家計の実態などについてご紹介します。